



復興の現場から学ぶ

ヘリテージマネージャーが 被災地域において とるべき行動と 災害に備えた体制と連携の 構築を考える。

Heritage Managers [ヘリテージマネージャー] が
Historic Architectures [歴史的建造物] を
Demolition [解体] から Guard [防護] し
Resurgence [復興] を Assistance [支援] する
Formation [組織] づくりを考えましょう。

10月29日 日 13:00～16:30

参加費：無料、第1部13:05～ 第2部14:45～

キャンパスプラザ京都【2階ホール】京都市下京区東塩小路町939
TEL (075) 353-9111

第1部

「熊本地域の歴史的建造物修復保存の
動きとヘリテージマネージャーの関わり」

基調講演：熊本大学大学院教授 伊東龍一 氏

第2部

「熊本地域の視察」及び「倉吉中部地震
復旧支援」報告とパネルディスカッション

報告：熊本視察員・倉吉派遣員
パネルディスカッション：専門家とヘリテージマネージャー

主催：京都市文化財マネージャー育成実行委員会
企画運営：特定非営利活動法人 古材文化の会

※講師プロフィール、お申込み方法、その他詳細は裏面参照



開催主旨

近年、地震など自然災害によって、多くの都市や建物が被害を受けている。なかでも被災した歴史的建造物に至っては、保存修復において大きな壁に直面し、解体に至るケースも少なくない。

阪神大震災を機に養成されたヘリテージマネージャーが、通常の活動はもとより、このような非常時において、どのような役割を果たせるかが求められる。

歴史的建造物やそれらが建ち並ぶまちや風景を守るため、被災地に対する支援態勢、或いは、自らのまちが被災した場合の受入態勢など、何ができるか、何が必要かという命題について、実際の被災地支援、及び復興まちづくりの現場を通して考えることで、京都市文化財マネージャーのスキルアップを図る。

プログラム

13:00-13:05 開会あいさつ

13:05-14:35 第1部 基調講演

特別講師：伊東龍一氏（熊本大学大学院教授）
「熊本地震の歴史的建造物の修復保存の動きと
ヘリテージマネージャーの関わり」

休憩

14:45-16:25 第2部 報告会及パネルディスカッション

熊本地域の視察及び倉吉中部地震復旧支援報告
(60分)
熊本視察員、倉吉派遣員

パネルディスカッション(40分)

専門家とヘリテージマネージャー

16:25-16:30 閉会あいさつ

講師経歴：

伊東龍一教授

熊本大学大学院先端科学研究部環境科学部門
建築史・都市計画分野教授。

熊本地震文化財ドクター

熊本地震被災文化財建造物復旧支援委員会委員。
特別史跡熊本城保存活用委員会 天守復興部会部
会長。

熊本をはじめ、大分、宮崎などの各県において
ヘリテージマネージャー養成講座の講師を務める。

1957年東京都生まれ。

1981年東京工業大学建築学科卒業

工学博士（東京工業大学）。

著書に

『近世建築指図の総合的研究 第一巻』

『同 第三巻』

『寺社の装飾彫刻』（共著）

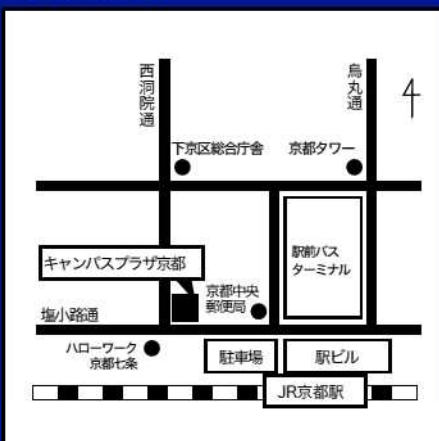
『日本名建築写真選集15 日光東照宮』（共著）

『城郭・侍屋敷古図集成 江戸城Ⅰ』などがある。

復興の現場から学ぶ

ヘリテージマネージャー
が、被災地域においてとる
べき行動と
災害に備えた体制と連携
の構築を考える

<会場地図>



参加費：無料

定員：80名 先着順、定員になり次第締め切ります。

申込：参加希望の方は氏名、連絡先、所属を明記の上、10月21日(土)

までに事務局にFAX またはメールでご連絡ください。

※受付の通知と詳しい交通のご案内を送ります。

氏名

所属

京都市文化財マネージャー その他 ()

連絡先

電話

mail

京都市文化財マネージャー育成実行委員会

事務局 特定非営利活動法人 古材文化の会

〒605-0981 京都市東山区本町17丁目354番地

Tel: 075-532-2103 Fax: 075-551-9811 E-mail: bunka@kozai.or.jp